



主力商品
国産ほしいも、中国産ほしいも、きなこ

- 本社所在地：茨城県ひたちなか市平磯町1113
- 事業概要：ほしいも、きなこ、乾物、麦茶などの食品製造・販売
- 常時使用する従業員：200名（2025年8月時点）
- 現在の売上高：48億円（2025年4月期）
- 法人番号：1050001006742
- Web：https://www.k-sho.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役 社長
鬼澤 宏幸

Mission

農産加工品を通して人々の「幸せ」と「健康」に貢献します

- ・ほしいも作りで培った技術を生かしてお客様においしく、健康に良い商品を提供します
- ・農産物の可能性を追求し、様々な革新を起こしてお客様の幸せに貢献します

Vision

茨城のほしいも産業発展に貢献すると共にアジア最大のほしいも・さつまいもメーカーを目指します

- ・ほしいもメーカーからさつまいもメーカーへ変化します
- ・地域生産者との連携により産業の隆盛を目指します
- ・中国合併企業との連携により生産基盤を強化し世界市場を開拓します

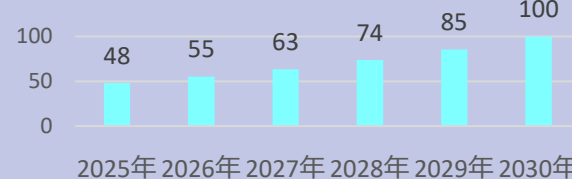
Value

仕事を通じて生まれる人との縁を大切に人生を楽しむ

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年の100億達成に向け年率15%程度の成長を目指していきます



課題

- ①市場競争の激化:国内外の他の産地、特に低価格路線の製品との競合が激化しているために、商品構成やマーケティング戦略の見直しが課題となっています。
- ②原材料の安定供給:原材料の安定供給は、製造業者にとって重要な課題であり、天候不順や農業政策の変化により、原材料の供給が不安定になることがあります。
- ③人手不足の懸念:現場労働者と管理者の双方が不足し拡大する売上に対応できる生産ができなくなる懸念があります。
- ④生産能力の限界:業容の拡大とともに加工設備を順次増強してきましたが、結果工場が点在しており、近い将来、生産能力に限界を来すことが予測されています。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①新たな品質管理の手法や新商品開発、マーケティング戦略の見直しにより、自社製品の差別化とブランディングの強化が必要となっている。
- ②原材料確保の安定化と量増加のため、契約農家との協力体制の強化や、有力協力会社との業務提携等が必要となっています。
- ③生産設備の自動化と工場のリロケーションを行い、省人化を推進すると共に従業員作業を単純作業から高付加価値作業へとシフトし人材育成を行います。
- ④新たな工場への設備投資を行い、生産能力の大幅な増強と同時に、IT技術とデジタル化の導入を平行して行うことで、品質管理や製造管理も精度を向上させて、競争優位性を向上させます。

実施体制

- ①代表取締役社長を統括責任者として、売上100億円にむけたプロジェクトチームを発足させ事業を推進していきます。
- ②月次で進捗モニタリング会議を開始し目標管理を徹底します。
- ③製造現場責任者を早期に育成して、現場改善を同時に進行できる体制を構築します。
- ④強固な財務基盤に基づき、設備投資と人材投資のバランスを図りつつ成長資金の確保を行います。